

BECC JAPAN 2019 ライトニングセッション発表者の皆様へ

BECC JAPAN 2019 開催にあたり、8月23日（金）本会議の発表要項を下記の通りご案内いたします。

お手数をおかけいたしますが、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

1. 会場へのアクセス

東京大学生産技術研究所 An棟へのアクセスにつきましては、3ページ目の地図等をご覧ください。

An棟に入られましたら、2F受付までお越しください。

2. 本会議当日朝の受付および開会について

受付開始は午前9時、開会は9時30分です。

受付は、東京大学生産技術研究所 An 棟 2F ホワイエに設置いたします受付テーブルにて行います。受付テーブルにてメールでお送りしました参加票をご提示いただき、名札をお受け取りください。

3. 発表資料について

発表資料はパワーポイント（スライド）でご準備ください。

当日、各セッション会場にはノート PC、プロジェクタを用意しております。発表用の資料データは各自 USB メモリー等でご持参いただき、会場内ホワイエに控えております事務局担当者にお渡しください。PC をご持参いただいた場合は、事務局で用意いたします USB メモリーに資料データをコピーいたします。

ご提出は、本会議受付開始時（午前9時）より随時受け付けております。受付は 12時半までとなります。余裕をもってのご提出をお願いいたします。

なお、会場での資料の印刷・コピーはできませんのであらかじめご了承ください。

4. 発表資料の公開について

①事前公開

BECC JAPAN の Web サイトに、発表資料の事前公開ページを用意いたします（参加登録者限定公開）。

ご提出は任意です。ご提出いただける場合は、8月21日（水）までに info@seeb.jp 宛にお送りください。

②事後公開

会議終了後、各発表者は発表資料の公表・非公表を選択可能であること、公表資料は会議当日の発表資料と一部異なるものでも構わないとすること、を前提に、発表資料の最終版を Web サイトにて公開させていただきます（開催後半年ほどを参加登録者限定公開とし、のちに一般公開いたします）。

詳細は、会議終了後にあらためてご案内いたします。

5. セッション会場への移動と発表時間厳守のお願い

口頭発表セッション・ライトニング発表セッションは、2F コンベンションホール (A 会場)・3F 大会議室 (B 会場)・4F 中会議室 (C 会場) の3会場に分かれて行います。ポスターセッションは2F ホワイエで行います。

セッション会場・セッション開始時間等をあらかじめご確認いただき、速やかな会場間移動と発表準備をお願いいたします。また、発表時間につきましても時間厳守にご協力いただき、所定の時間内でご発表いただけますようお願いいたします。

発表時間は9分、質疑応答時間は3分でございます。なお、終了時間3分前と終了時、質疑応答終了時にベルを鳴らします。

皆様には、大変お忙しいタイムスケジュールでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、会議のスムーズな進行にご協力賜りますようお願いいたします。

6. ランチについて

東京大学生産技術研究所 An 棟建物内レストランおよび生協食堂等をご利用ください。

なお、参加登録時にお申込みいただきました方には、お弁当（お茶付き）を用意いたします。お弁当の配布は、11時半頃より2F ホワイエの受付テーブルにて開始する予定です。

午後のセッションの発表者の皆様につきましては、早めに会場にお集まりいただけますようお願いいたします。

7. 交流会について

交流会（立食パーティー形式）は、18時20分～19時30分となっております。交流会に参加される方は、本会議終了後、東京大学生産技術研究所 An 棟 1F のレストラン **ape cucina naturale** (<http://www.ciaobella.jp/ape/>) へのご移動をお願いいたします。

8. 当日の緊急時等連絡先

・事務局連絡先

池田：090-9150-9339

以上

気候変動・省エネルギー行動会議 事務局
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-29
紀尾井町アークビル 3 階 (株)住環境計画研究所内
担当：池田、森
Tel:03-3234-1177 / Email:info@seeb.jp

【会場へのアクセス】

東京大学生産技術研究所 An 棟 (駒場リサーチキャンパス内)

<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/>

<https://www.google.com/maps/d/viewer?mid=11Dj1aWA9VMEgsWEaPe8z6NldDKE&ll=35.66363119933816%2C139.6789588720743&z=15>

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1



- 小田急線・東京メトロ千代田線/代々木上原駅より徒歩 12 分
- 小田急線/東北沢駅から徒歩 8 分
- 京王井の頭線/駒場東大前駅西口から徒歩 10 分
- 京王井の頭線/池ノ上駅から徒歩 10 分

【全体スケジュール】

[施設見学会] 2019年8月22日(木)

於：「有明の丘基幹的広域防災拠点施設」及び「そなエリア東京」(東京都江東区有明)

時間	プログラム
13:30~16:00	施設見学会

[本会議] 2019年8月23日(金) 於：東京大学生産技術研究所 An棟(東京都目黒区駒場)

時間	プログラム		
9:00~9:30	受付開始(2階ホワイエ)		
9:30~9:35	開会挨拶(コンベンションホール(ホール2F_A会場))		
9:35~9:55	来賓挨拶(コンベンションホール(ホール2F_A会場))		
9:55~11:00 (65分)	基調講演(コンベンションホール(ホール2F_A会場))		
11:00~11:15	休憩		
11:15~12:15 (60分)	ポスターセッション(2階ホワイエ) 11:15~11:45(前半) / 11:45~12:15(後半)		
12:15~13:00	ランチ休憩(各自)		
	ホール2F_A会場	大会議室3F_B会場	中会議室4F_C会場
13:00~14:15 (75分)	A1 口頭発表セッション “省エネ・環境教育” ※25分/発表×3件	B1 口頭発表セッション “スマートフォンを通じた家庭の 省エネ行動促進” ※25分/発表×3件	C1 ライトニング発表セッション “フィールド調査・実証” ※12分/発表×4件
14:15~14:25	休憩		
14:25~15:15 (50分)	A2 ライトニング発表セッション “気候変動対策/ 省エネ・節電行動” ※12分/発表×4件	B2 ライトニング発表セッション “AI・IoT・デジタル技術 /電気自動車” ※12分/発表×4件	C2 口頭発表セッション “海外における 行動変容事業の動向” ※25分/発表×2件
15:15~15:25	休憩		
15:25~16:40	A3 口頭発表セッション “ホームエネルギーレポート:効果的 情報提供手法の探索” ※25分/発表×3件	B3 口頭発表セッション “世帯特性の特定/ 機器選択” ※25分/発表×3件	C3 口頭発表セッション “ライフスタイルと価値観” ※25分/発表×3件
16:40~16:50	休憩		
16:50~18:05	P 口頭発表セッション(ホール2F_A会場) 加ゼンクプレナリーセッション“省エネを導く行動デザイン” ※25分/発表×3件		
18:05~18:20	移動・休憩		
18:20~19:30	交流会(An棟1階 ape cucina naturale by ciobella)		

【詳細スケジュール】

■ポスター発表セッション

番号	発表タイトル／発表者・所属
1	省エネ行動を促す住宅用全館空調システム用タブレット型リモコン 田中 裕造（アズビル 技術開発本部 商品開発部 エアクオリティ技術グループ）
2	大規模アンケートを通じた、省エネ意識・行動と関連する心理的・社会的個人差の検討及びクラスタリング 伊藤 言（アイデアラボ 研究員）
3	心理的個人差によるクラスタリングと省エネ行動への介入効果との関連 市川 玲子（アイデアラボ 研究員）
4	ゲームで環境配慮行動の動機を作れるのか 〔環境かるたを用いた長期の環境配慮行動の動機の誘起〕 北村 海都（宇都宮大学地域デザイン科学部 学部4年生）
5	SDGs 未来都市・横浜における行動インサイトの政策活用 〔横浜市行動デザインチーム（YBIT）の取組〕 植竹 香織（横浜市役所 温暖化対策統括本部プロジェクト推進課）
6	省エネルギー意識を定着させる小学生向け教育教材の開発 池山 佳幸（九州大学大学院人間環境学府 学生）
7	省エネルギーを促進する行動科学的アプローチ手法に関する研究 吉本 瑛里子（九州大学大学院人間環境学府空間システム専攻）
8	住宅エネルギー行動：エネルギー消費と効率の分析 ラム チ ユン（広島大学大学院工学研究科）
9	家庭電力需要の短期予測に向けた深層学習の適用 小澤 暁人（産業技術総合研究所 研究員）
10	省エネ教育プログラムの開発 〔中高生向け省エネ教育プログラムの開発と実証（第3報）〕 赤石 記子（東京家政大学家政学部 講師）
11	節水行動に関する省エネ教育プログラムの開発と教育効果の検討 〔中高生向け省エネ教育プログラムの開発と実証（第4報）〕 荒木 葉子（新渡戸文化短期大学 准教授）
12	HEMS の活用とその経年変化に関する研究 山田 茜（早稲田大学大学院創造理工学研究科）
13	ヒートマップを用いた温熱環境に対する人の行動の分析と省エネ行動の促進 三村 拓海（早稲田大学大学院創造理工学研究科 学生）
14	家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 〔複数の集合住宅における年間電力消費量に関する考察〕 吉田 一居（東急不動産 R&D センター 兼 東京都市大学 大学院環境情報学研究科）
15	家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 〔燃料電池を搭載した集合住宅におけるエネルギー消費に関する研究〕 坊垣 和明（東京都市大学 名誉教授）

16	時代背景と食生活から見る世代区分ごとの価値観特性に合わせた省エネ行動訴求の可能性 木村 康代（東京ガス 都市生活研究所）
17	家庭における省エネ行動の定量化及び行動変容の可能性 [台所（コンロ）での省エネ行動] 井上 理一郎（東京ガス 暮らしサービスコミュニケーション部）
18	断熱リフォーム普及促進のための冊子コンテンツの作成 神代 翔子（東京大学大学院工学系研究科）
19	家庭内事故の要因と省エネ行動の関係 河原 ゆう子（東邦ガス 技術研究所）
20	APEC Low-Carbon Model Town (LCMT) Project Dissemination Phase1: Case in three model town for Southeast Asia countries 范 理揚（日建設計総合研究所 研究員）
21	省エネルギー型機器選択行動を促す要件の検討 [給湯器の買い替えを題材として] 天野 晴子（日本女子大学家政学部 教授）
22	環境問題における消費者の意識と行動 [カーボンフットプリントを事例に] 平湯 直子（武蔵野大学経済学部 准教授）
23	書画カメラを活用して、身近な家電の消費電力を見える化したエネルギー環境教育の実践報告 岡崎 朱実（北海道グリーンファンド 理事）

■口頭・ライトニング発表セッション

A1	省エネルギー・環境教育 司会：松葉口 玲子（横浜国立大学）
	ナッジ等行動科学の知見を活かした省エネ教育による CO ₂ 削減及び省エネ行動変容効果 〔中高生向け省エネ教育プログラムの開発と実証（第1報）〕
	三神 彩子（東京ガス 暮らしサービスコミュニケーション部 都市生活研究所 主幹）
	試行実証における省エネ教育プログラムの持続性評価 〔中高生向け省エネ教育プログラムの開発と実証（第2報）〕
	矢田 麻衣（住環境計画研究所 研究員）
	気候変動の理解と省エネルギー行動の促進へのアナログゲームの活用効果
	杉浦 淳吉（慶應義塾大学文学部 教授）

B1	スマートフォンを通じた家庭の省エネ行動促進 司会：前 真之（東京大学）
	LINE とモバイルアプリを介したメッセージングによる省エネ効果の検証
	小林 翼（住環境計画研究所 研究員）
	スマートフォンを活用した家庭向け省エネサービスの実証研究 〔2年目の速報〕
	小松 秀徳（電力中央研究所 エネルギーイノベーション創発センター）
	家庭における室内外環境見える化システムの省エネルギー及び環境改善効果
中島 裕輔（工学院大学 建築学部 教授）	

C1	フィールド調査・実証 司会：八木田 克英（東京大学生産技術研究所）
	省エネ情報提供活用のための過去データによらないエネルギー予測
	阿部 寛人（東京都市大学大学院 環境情報学研究科 環境情報学専攻）
	ナッジの省エネ行動誘発効果の実証 〔病院診察室の照明・空調の使い方における省エネ行動の誘発〕
	糸井川 高穂（宇都宮大学地域デザイン科学部 助教）
	フロン漏えい抑制による省エネ効果について 〔冷凍・冷房分野における超音波検知とIoTを活用したフロン漏えい抑制に関する省エネ及び温室効果ガス排出削減〕
	難波 俊輔（ナンバ 代表取締役社長）
	環境配慮技術を活用した環境学習授業普及のための実施方法の検討に関する研究
田中 駿也（工学院大学大学院工学研究科）	

A2	気候変動対策/省エネ・節電行動 司会：三神 彩子（東京ガス株式会社）
	学校における省エネ行動と教育に関する研究調査の動向

	松葉口 玲子（横浜国立大学教育学部 教授）
	社会生活基本調査を用いた節電ポテンシャルの推計
	鷺津 明由（早稲田大学 社会科学総合学術院 教授）
	再生可能エネルギーの理解と家庭における電力消費行動の関係に関する調査
	川本 弥希（東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学系 研究員）
	気候変動対策としての食行動変容の必要性和課題 [既往文献レビューより]
	木村 幸（電力中央研究所社会経済研究所 上席研究員）

B2	AI・IoT・デジタル技術/電気自動車 司会：平山 翔（住環境計画研究所）
	省エネ部材の最適仕様抽出と情報提供方法の検討
	岡市 敦雄（パナソニック ライフソリューションズ社 技術本部 課長）
	画像解析技術を活用した人流予測による省エネルギー管理
	藤本 透（日立ビルシステム ソリューション事業部 ビル ICT ソリューション部 部長）
	V2Hによる系統需給調整の可能性
	大澤 理弘（三菱電機 電材住設スマート事業部 HEMS開発センター 専任）
VtoHの利用に関する実邸調査報告	
桑原 邦寿（積水化学工業住宅カンパニー商品開発部住宅技術研究所）	

C2	海外における行動変容事業の動向 司会：ヘイグ ケン（日本オラクル、オラクル UGBU）
	一般家庭による最大級行動変容型デマンド・レスポンスの実現 [（米国大手エネルギー事業者）BGE社が全ての家庭顧客にエンパワーメントと満足を提供する Smart Energy Rewards® PTR 事業から得られるレッスン] Amanda Janaskie (Baltimore Gas & Electric Company Manager, Energy Efficiency Programs)
	iNudgeyouによるナッジと行動科学を活用したデンマークの気候変動対策・エネルギー転換の取り組み Mathilde Schilling (iNudgeyou – The Applied Behavioural Science Group Behavioural Analyst)

A3	ホームエネルギーレポート：効果的情報提供手法の探索 司会：杉浦 淳吉（慶応義塾大学）
	IoTセンサとインタビューに基づく省エネメッセージのパーソナライズの課題抽出 三浦 輝久（電力中央研究所 エネルギーイノベーション創発センター 主任研究員）
	スマートメータ版ホームエナジーレポートの実証研究 [2年目の速報] 西尾 健一郎（電力中央研究所 上席研究員）

	<p>ホームエネルギーレポートによる省エネ効果の地域性・持続性に関する実証研究 [介入1年後における省エネ効果と行動変化] 平山 翔 (住環境計画研究所 主任研究員)</p>
B3	<p>世帯特性の特定／機器選択 司会：住吉 大輔 (九州大学) 大規模 HEMS データを用いた機械学習アルゴリズムによる住宅生活者属性の推定 本田 智則 (産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員)</p>
	<p>家庭の LED 照明導入能力の決定要因分析 尾沼 広基 (早稲田大学環境経・経営研究所)</p>
	<p>太陽光発電の余剰電力買取期間終了後の需要家意向に関する調査 岸田 真一 (住環境計画研究所 主任研究員)</p>
C3	<p>ライフスタイルと価値観 司会：坊垣 和明 (東京都市大学) 高齢者の省エネという観点からの住み替えに関する一考察 八木田 克英 (東京大学生産技術研究所 特任研究員)</p>
	<p>エネルギー消費行動に対する価値観影響の理論化に向けて 大塚 彩美 (早稲田大学 社会科学部 講師)</p>
	<p>家庭用電力契約のスイッチ意図に関する研究 天羽 伸二 (東京工業大学 環境・社会理工学院)</p>
P	<p>省エネを導く行動デザイン 司会：鶴崎 敬大 (住環境計画研究所) スマートフォンアプリを活用したエコドライブサービスの実証研究 [エコドライブ評価手法の構築とナッジ等を活用したエコドライブ促進手法の検討について] 大我 さやか (デロイト トーマツ コンサルティング パブリックセクター マネジャー)</p>
	<p>エネルギー事業者による「コンシューマー」から「プロシューマー」への行動変容事業：行動型 DSM・DER 導入の最前線 [海外の行動ロードシェイピング、分散電源管理、IoT・スマートホーム連携等の実証事業でみられている速報の結果と制度化への事例] ヘイグ ケン (日本オラクル オラクル ユティリティ グローバル ビジネスユニット (UGBU) シニアディレクター 渉外部)</p>
	<p>戸建住宅の断熱リフォームの普及促進に向けた調査研究 前 真之 (東京大学大学院工学研究科 准教授)</p>